

当病棟では、赤ちゃんにドライテクニクを 導入しています



以下の文章をご覧ください、ご不明な点はスタッフにご質問ください。

【ドライテクニクについて】

生後4～5日目頃まで沐浴を行わず、赤ちゃんについた血液や羊水など汚れた部位のみ拭き取り、胎脂などを自然に残しておく方法です。生まれたばかりの赤ちゃんへの負担は少なくなります。赤ちゃんの産着は毎日交換し、お臍の消毒を行います。

※赤ちゃんの状態により沐浴する場合があります。
※生後1日目は石鹸で髪の毛を洗う事もあります。

【ドライテクニクの利点】

- ①体温保持
- ②体力消耗予防
- ③感染予防
- ④生理的体重減少が少ない
- ⑤胎脂のにおいにより母児の絆を深める
- ⑥皮膚トラブルが減少し皮膚の乾燥を防ぐ
- ⑦臍落の時期が早まり臍部の感染予防ができる

胎脂(たいし)について

赤ちゃんの皮膚に付いている白い脂です。お腹の中にいる時から皮膚を保護し、お産の時は潤滑剤としてはたらきます。赤ちゃんの皮膚を保護し細菌から守る働きの他に保温と保湿の効果もあります。

【沐浴開始の目安について】

生後5日目以降を目安としています。この頃になると胎外生活に慣れて、新陳代謝も活発になってくるといわれています。入院中、沐浴指導は行いますが、沐浴を実際に行いたい場合は退院日に行えますのでお申し出てください。退院後は毎日沐浴を行ってください。

